



■ 児童の安心・安全のために ～ お知らせ3点

① AED(自動体外式除細動器)を玄関の外に移しました。

心臓がけいれんし、心機能停止となった時に、電気ショックを与え、正常に血液を循環させる機能を取り戻すための「AED」は、これまで事務室前、玄関の中に置いていました。児童や社会体育などの学校施設利用者が、万一心停止状態になった時は、ドアのガラスを破って取り出すことも考えられました。そこで、より使いやすくするために玄関の外側(右写真)、「基山町立若基小」のプレート下辺りに移しました。学校敷地内、めいかは学校近辺でもしものことがあった際には、ためらわずご使用下さい。機械のふたを開くと警戒音が鳴りますが、気にせずらいで下さい。使用講習を受けた方はご存知かと思いますが、AEDは、操作方法を音声ガイドが教えてくれます。使うような機会が起らないことを願いますが、危急の際はぜひご使用下さい。



② 非接触型体温検査器を児童玄関に設置しました。

日常生活では各建物や店舗の入口に設置されていて、すっかりおなじみになった非接触型体温検査器。本校にも以前から1台設置し、玄関で教職員やご来客、授業参観時の保護者様の検温を行ってききました。このほど町から学校にプラス2台購入してもらいましたので、11月から児童玄関に置いています。児童はこれまでも朝には各家庭で検温をしてもらっていましたが、コロナ感染予防意識の高まりと、自分の体調を再確認するきっかけになればと願っています。全校児童209名に対して2台の検査器ですので、かえって密の状態をつくらないかと心配しましたが杞憂でした。児童は慣れたもので、順番を守り、てきぱちと朝の再検温を行っています。

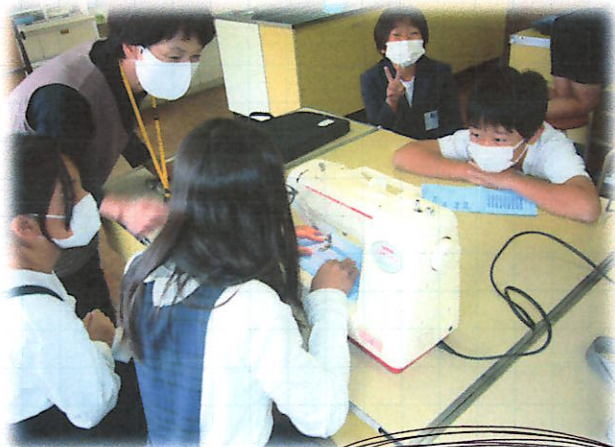
③ 生理用品の寄付がありました。

「生理の貧困」という言葉をご存知でしょうか。全国紙やTVなどで報道されている、格差社会が進んで、生理用品が買えない家庭がある、という状況のことです。町議会の一般質問でも取り上げられています。本校としては、従前から、生理用品が手元になくて困った場合は、保健室に常備しているので、もらいに来るよう女子児童に伝えていました。この問題に対処する形で、このほど鳥栖法人会から基山町立3校に生理用品の寄付があり、本校では主に5・6年生が使用する。南棟3F女子トイレの個室に置いてあります。大変ありがたいことです。これは、使用する時の報告は不要です。養護教諭が定期的に点検し、使用した分を補充していますので、使った分をお返しになる必要もありません。

■ 地域住民の方々の教育力を借りて ～ 学校運営協議会の取組

学校運営協議会(コミュニティ・スクール、CS)の方々が、「若基小校区の地域の方々は、子供のためなら進んで力を貸して下さる。」という強みを生かして、5年家庭科のミシン学習の支援を呼びかけられ、10月下旬～11月上旬、児童に指導して下さいました。10/21、28の2日間は、のべ16名の方々が授業に入ってご指導下さいました。担任だけでは行き届きにくいミシンの個別指導を、優しく丁寧に下さり、おかげで充実した学習ができました!

※ 学校よりNO.9でそらぼん学習の支援を暮りましたが、こちらは残念ながらご支援の希望がありませんでした。



他にも お力を借りています!



↑ すもすの会の皆さん
→ 4年生に

簡単な手話を教えていただきました。総合的な学習の時間における福祉の学習です。多様性が尊重されるこけらの社会を生き抜く力を付けてもらっています。

↑ 福永真理子 教育委員様 → 5・6年へ
演舞を教えていただきました。体育科における表現運動です。
1/29(土)の「若友」で披露できれば計画です。2